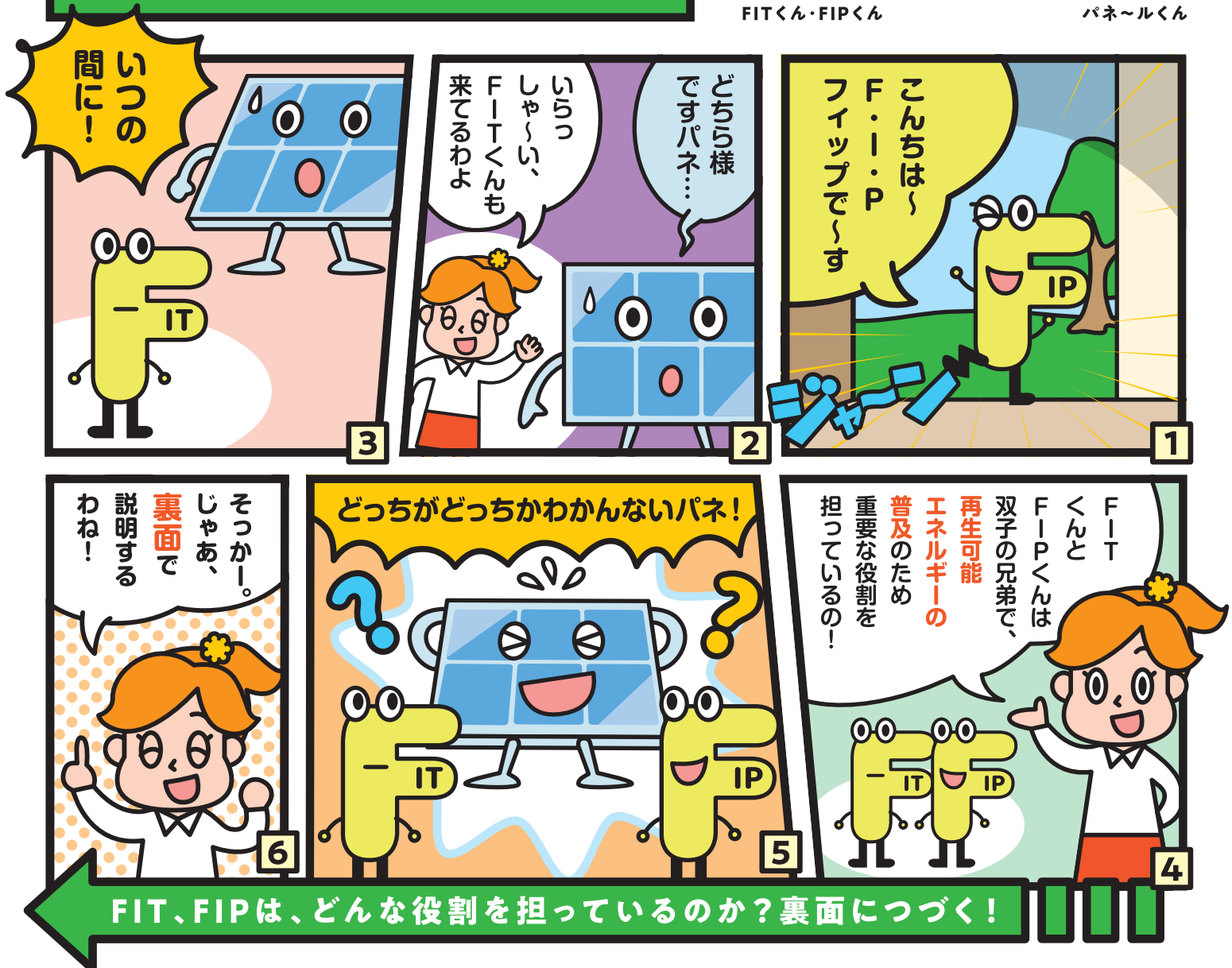
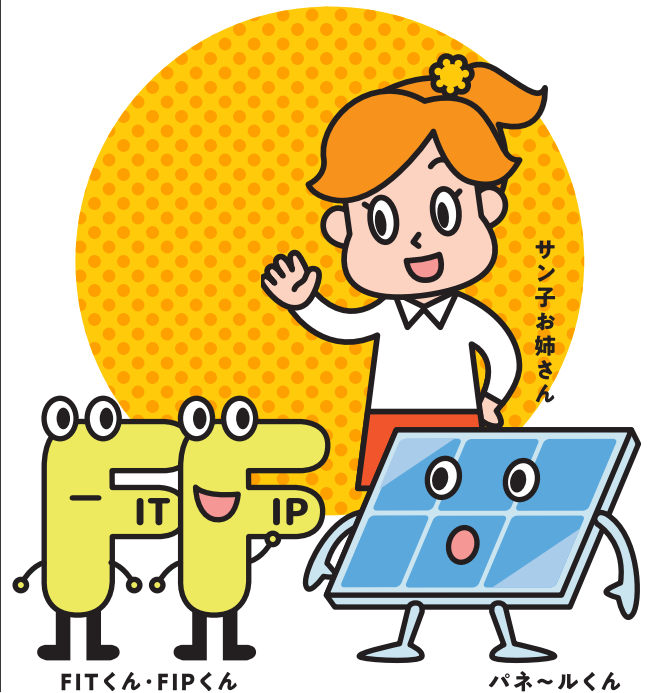


再生可能エネルギーの
主力電源化に向けて

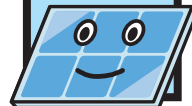
再エネの ルールが 変わります。

① 教えて！FIT制度



FIP制度で、再生可能エネルギーの市場への統合を図ります。

FITとFIPの違いについて
教えてパネ!



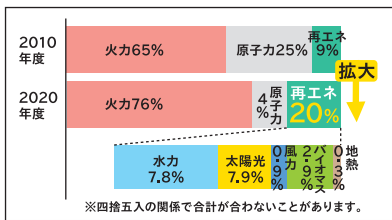
オーケー! 石油や石炭などの化石資源をもたない日本において、自然環境を活かした再生可能エネルギーは、社会を維持し発展させていくために、とても重要な意味を持っているの。

そこで、再生可能エネルギーを次世代の主力電源として推進すべく、2012年にFIT(フィードインタリフ)制度が導入。そのおかげで、発電量の中で再生可能エネルギーが占める割合は大幅に拡大し、2020年度速報ベースで約20%まで上がってきたのよ!

FIT制度は、再生エネの普及が進んでいない段階において作られた制度で、固定価格で電気を買収することとし、再生エネの大量導入を促進することを目的とした制度なの。

再生可能エネルギーが主力電源になるためには、将来的にFIT制度等による政策措置がなくとも、電力市場で自立的に導入が進み、規律あ

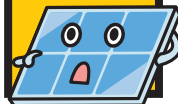
再生可能エネルギーが主力電源になるためには、将来的にFIT制度等による政策措置がなくとも、電力市場で自立的に導入が進み、規律あ



日本の電源構成の変化

る電源として長期安定的な事業運営が確保される必要があるの。このため、FIT制度からの自立化に向け、競争力のある電源となるよう、市場への統合を図っていく観点から、FIP制度を新たに導入することとしたのよ。

FIT...FIP...、似たような名前パネ。



FIPとは「フィードインプレミアム」の略称で、電気を卸市場や相対などで取引し、供給した分に対して一定のプレミアム(補助額)を上乗せする方法よ。プレミアムは、市場価格の水準にあわせて一定の頻度で更新されるから、再生エネ発電事業者の収入は市場価格に連動するわけ。従来のFIT制度の場合は、再生エネ電気を電力会社がいつでも定額で買い取るため、電気の市場価格の高低にかかわらず、電気が取引されていたけど、FIP制度によって発電事業者が市場に調和的な行動をとっていかねば、電力システム全体を運営するコストが下がるといふメリットが予想されているわ。また、発電事業者が効率的に電気を売ることができれば収入アップを狙えるし、アグリゲーターといった新たなパートナーとタッグを組むことも新しいビジネスモデルを作ること

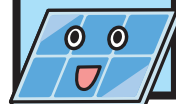
2022年度(FIP制度施行初年度)における新規認定の特定区分等(FIT)・交付対象区分等(FIP)・入札の対象(電源)

電源	FIT(非入札)	FIT(入札)	FIP(入札)
太陽光	FIT(非入札)	FIT(入札)	FIP(入札)
風力	FIT(非入札)	FIT(入札)	FIP(非入札) ※選択可能
地熱	FIT(非入札)	FIT(非入札)	FIP(非入札)
中小水力	FIT(非入札)	FIT(非入札)	FIP(非入札)
バイオマス(一般木質等)	FIT(非入札)	FIT(非入札)	FIP(入札)
バイオマス(液体燃料)	FIT(非入札)	FIT(入札)	FIP(非入札)
バイオマス(その他)	FIT(非入札)	FIT(非入札)	FIP(非入札)

0kW 50kW 250kW 1,000kW 10,000kW

できるわ。FIT制度と比べて発電事業者が工夫をする余地がたくさんあると言えるわね。

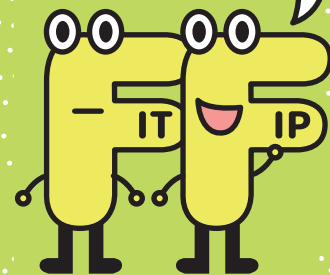
再生エネの価格競争力を高めて、自立化を図るパネね!



すごい! その通り! 2022年4月1日から制度が始まるんだけど、例えば、太陽光1000kW以上など一定規模以上は新規認定でFIP制度のみ認められるようになるのよ。また、電源の規模によっては、FITとFIP制度を事業者が選択できるようになるわ(例:太陽光は、50~1000kWは選択)。

2022年度(FIP制度施行初年度)における新規認定の特定区分等(FIT)・交付対象区分等(FIP)・入札の対象(電源)

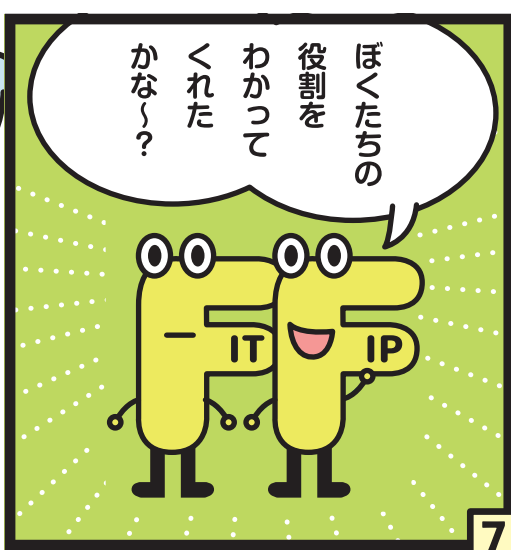
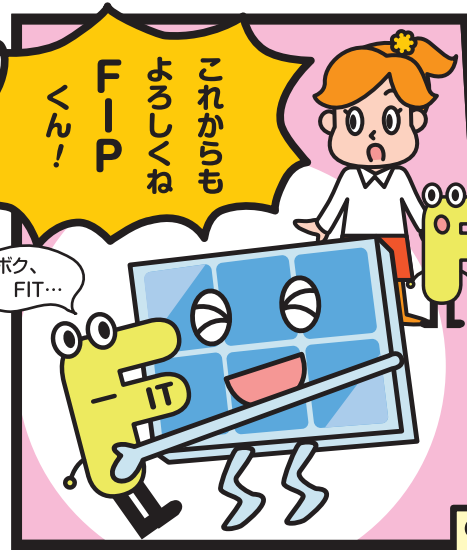
ぼくたちの役割をわかってくれたかな?!



パネえ! ※2人ともパネえよ!!

これからもよろしくね FIPくん!

ボク、FIT...



経済産業省 資源エネルギー庁

お問い合わせ

詳しくは、資源エネルギー庁・なっとく再生可能エネルギーHP→

TEL:0570-057-333

受付時間 平日9:00~18:00 (土・日・祝日、年末年始は除きます)

再生エネ特措法の改正

